

## アスパラガス高畝栽培の収穫前進化技術

アスパラガス高畝栽培における農 PO フィルムの畝サイドへの被覆は、省力的に春芽収穫開始時期を9日早めることが可能となります。

アスパラガスは県推進6品目の一つで、立った姿勢で収穫が可能なアスパラガス「高畝栽培」を中心に栽培面積を広げています。アスパラガス春芽の市場単価は、出荷時期が早いほど高い傾向にあります。そこで、農 PO フィルムを用いて畝を保温することによって、春芽の収穫開始時期が早まるかを検討しました。

その結果、農 PO フィルムの畝の被覆は、春芽収穫開始期(可販収量が 50 kg/10a に到達した日)を慣行栽培と比べて9日早めることが明らかとなりました(写真、図)。今回の結果は被覆によって地温が上昇し、収穫開始時期が早くなったと考えられます。実際、日平均地温は被覆により2℃程度上昇することが確認できました。また、畝サイドへの被覆は、畝上部への被覆と異なり日中のフィルムの開閉を必要としないことから、省力的な方法となります。

このことから、高畝栽培における農 PO フィルムの畝サイド被覆は、省力的に収穫開始時期を早めることが可能となり、収益性の向上に寄与することが期待されます。

今年度、同技術の早期現地導入を図るため、「現場タイアップ試験」として現地実証に取り組んでいます。



写真 被覆の様子  
(左が上部被覆、右がサイド被覆)

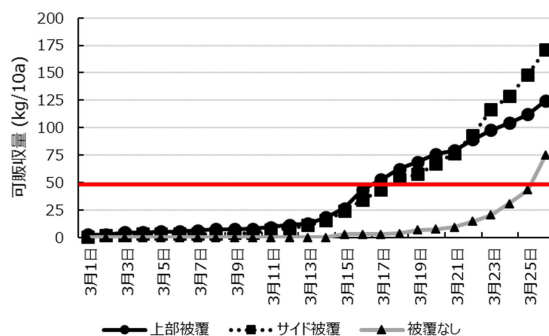


図 被覆による可販収量の推移

問い合わせ先：栽培研究部水田園芸科（担当:高祖 崇好）

TEL 0853-22-6991  
E\_mail:nougi@pref.shimane.lg.jp